

# Japan Cycle Road Race Tour 制度

## はじめに

2006シーズンより始まった、全日本実業団連盟の主催するツアー制度である「サイクルロードレース・ジャパンツアー（以下「Jツアー」）」も年を追うごとに盛り上がりを見せ、3年目の昨年、レース会場に毎回足を運ぶ固定ファンを見るにつけ、自転車ロードレースファンに着実に知名度、人気に定着した感があります。とはいえ、そうしたコアファン以外の、一般の観客はまだまだ少なく、世間にその存在を認知されるまでには至っておりません。

競技力については、海外の高いレベルのレースで活動する日本人競技者が出てきたとはいえ、世界選手権、北京五輪等の国際大会の結果をみれば、世界のトップレベルとは明らかな実力差があることは否めません。一方、国内競技に目を転じると、本業を持つなかで練習し、休日にレースに出場してくるアマチュア選手と、自転車競技を職業とし、練習時間も十分に取れるプロ選手との実力差は年々大きくなっています。本来、本業を持って同条件の中で競い合うという、アマチュアレーサーの活躍の場であるべき実業団レースにプロ選手が出場することの矛盾を、今年のBR-1レースの優勝をプロ2チームがほぼ独占(11レース中9勝)していることが、如実に物語っております。

こうした「競技力の向上」と「人気の拡大」は、本質的に二律背反する要素を内包するものの、決して二元論に二者択一とすべきではありません。双方を高次元でバランスをとり、「競技力が上がり人気も上昇する」「人気が出たことで競技力も上がる」といった、互いの相乗効果により上昇スパイラルに乗せていくことが、我々運営主体に課せられた責務と考えます。日本のロードレース界の拡大発展のため、これを確実に遂行するための「制度設計」と「組織運営」こそが、今こそ求められています。

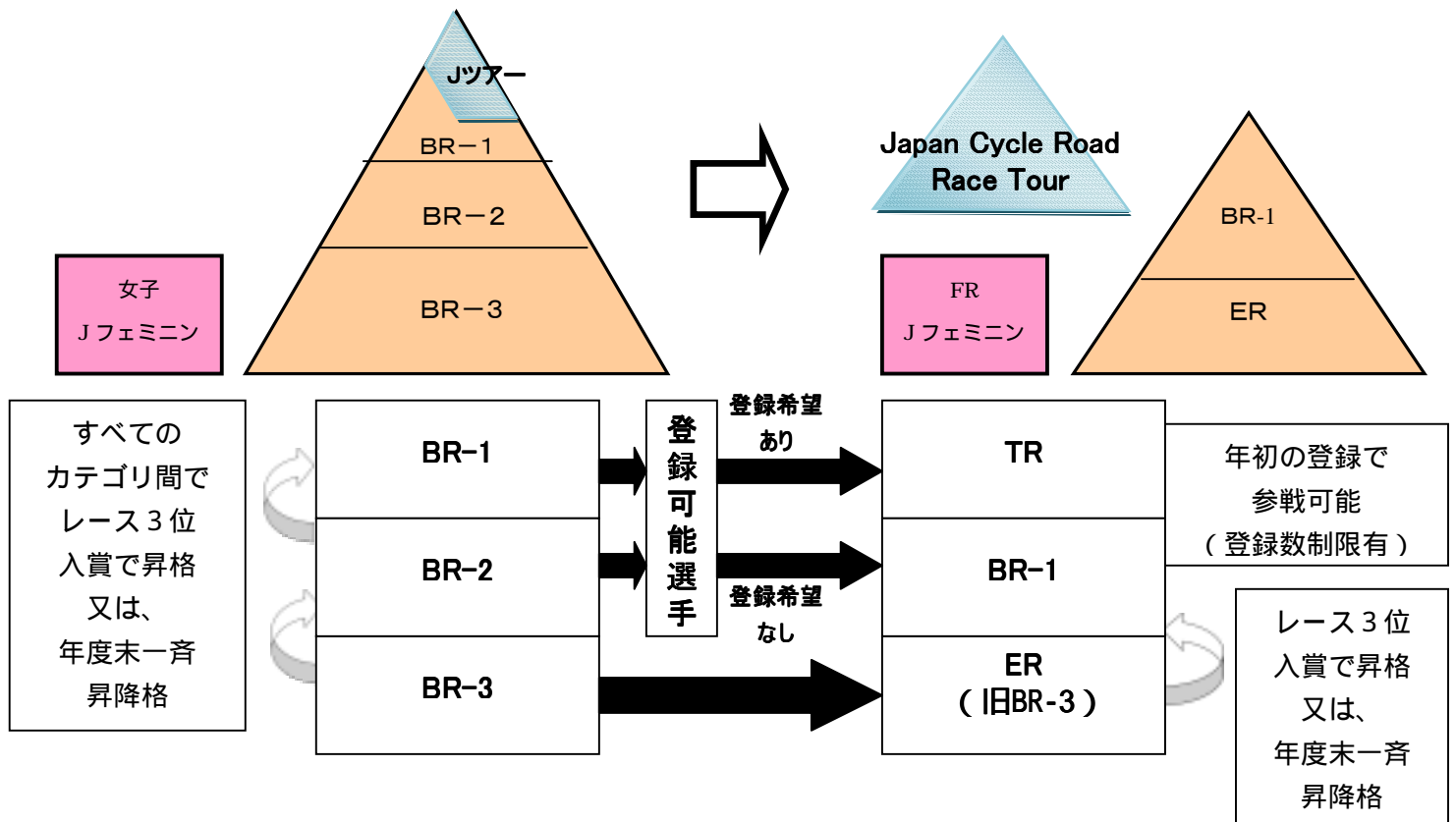
次代に向けた新たなしくみ、「Japan Cycle Road Race Tour制度」をここに発表いたします。

2009年2月

全日本実業団自転車競技連盟



## 【新制度 イメージ】



### 1. 従来のBR-1、BR-2からJapan Cycle Road Race Tour(以下「Jサイクルツアー」)登録競技者を抜き出し、「TRクラス」新設へ

- (1) Jサイクルツアーに登録した競技者は、「TR」とし、登録をしなかった従来のBR-1, BR-2選手は「BR-1」とする。
- (2) 従来のBR-3クラスは「ER」(旧BR-3)クラスに登録とする。女子選手は「FR」クラスに登録とする。

### 2. 移行方法

- (1) 2009シーズンより、Jサイクルツアー制度で運用する。ただし、一部運営上の都合などで2009年度については、移行経過措置を講じ、2010年度は見直しも含めて完全実施とする。
- (2) 移行経過措置を含めた新旧方式を以下に示す。
- (3) また2010年新体制については、2009年の結果により検討するため、確定ではない。

#### 【ツアー制度 新旧方式対比表】

項目	現行(~2008)	移行経過措置(2009)	目標(2010~)
登録	・個人単位	・チーム単位	・チーム単位
チーム所属競技者数	・規定なし	・最小4名、最多16名	・最小6名、最多16名
1チーム出走競技者数	・規定なし	・クラブチーム=16名 ・コンチネンタルチーム=8名	・要検討
登録チーム数	・規定なし	・20チーム	・20チーム
クラス	① BR-1 ② BR-2 ③ BR-3 ④ 女子	① TR ② BR-1 ③ ER ④ FR(Feminine Racer)	① TR ② BR-1 ③ ER ④ FR
チーム表彰	・表彰なし	・上位3名のポイント合計	・要検討
レース数	・12(成立11)レース	・13レース(予定)	・20レース(目標)

### 3. Japan Cycle Road Race Tour2009の設定

詳細な設定は平成21年度実業団GUIDをご覧ください。